



平野 泰造

一次産業での人、  
農地プランは

市長

人・農地プランは  
本年度中に策定

**問** 農水省より出された人と農地の問題の解決に向けた施策、人・農地プランについてどのように取り組まれるか。現在、小城市の農家を見ると集落営農組合41組織1,079戸大まかな平均年齢60・5歳、個別経営体の認定農家149戸で55歳、10年後に向けての施策は。

**問** 中山間地等直接支払制度の拡大は。

**答** (産業部長) 現在、5集落取り組まれている。拡大については、積極的にやっつけていく。

**問** 漁業振興についての考えは。3点

**答** (産業部長) ①浮遊ごみについては武雄河川事務所へ流出防止の協力要請を行っている。②栄養塩の助成は、近隣市町の状況で検討す

**答** (市長・産業部長) 農家は高齢化になっている。今回のプラン策定に当たっては、10年後の各農家の意向調査を行い小城市の将来像が見えてくるようなアンケートで、新規就農者や後継者の確保を図りたい。

**答** (市長) 本年度中に策定

**問** 産地協議会の設立は、県の指導を受け設立に向け協議していく。

**答** (市長) 市におけるごみ問題に対する広域化の現状と今後の推移はどうか。

**問** 市におけるごみ問題に対する広域化の現状と今後の推移はどうか。

▲農業を支える食味日本一のさがびより



**問** (市長) 県の中部ブロックの広域化計画は継続しているが、小城市・多久地区広域清掃センター建設協議会の中で協議をし多久市の上揚地区を候補地と確認した。整備にかかる総合的な総事業費見込みは。

**答** (市長) 現在の検討協議が進んでいるが最終的な総事業費は決定していない。

**問** (市長) 現在の検討協議が進んでいるが最終的な総事業費は決定していない。

**問** (市長) 現在の検討協議が進んでいるが最終的な総事業費は決定していない。

**問** (市長) 現在の検討協議が進んでいるが最終的な総事業費は決定していない。



中島 正樹

清掃センター建設の  
候補地は

市長

小城市内では適地はなく  
多久市内で選定

**問** 備事業との連携した整備計画はどう考えるのか。

**答** (市長) 将来的には交流プラザの計画と街路整備計画と調和させていく必要があると考える。

**問** (市長) 将来的には交流プラザの計画と街路整備計画と調和させていく必要があると考える。

**問** (市長) 将来的には交流プラザの計画と街路整備計画と調和させていく必要があると考える。

**問** (市長) 将来的には交流プラザの計画と街路整備計画と調和させていく必要があると考える。

**問** (市長) 将来的には交流プラザの計画と街路整備計画と調和させていく必要があると考える。

**問** (市長) 将来的には交流プラザの計画と街路整備計画と調和させていく必要があると考える。

**問** (市長) 将来的には交流プラザの計画と街路整備計画と調和させていく必要があると考える。

**問** (市長) 将来的には交流プラザの計画と街路整備計画と調和させていく必要があると考える。



▲現在の中継センター



香月チエミ

ICT活用で  
教育がどう変わるか

教育長

教師と児童・生徒の  
学び合い学習を深める

書を作成する。

**問** 学習効果を上げるには居場所のあるクラスづくりが先決では。また教職員の研修の確保は。

**答** (教育長) まず学級づくりが最優先だ。

ICT支援員を活用して30分程度のミニ研修を定期的に行うなど、授業実践部で検証していく。

**問** 備品購入の際はいろいろな業者が入札に参加できるように、同等品でも可能というような条件で機器とソフトとサポートのバランスをとっていくべきではないか。

**答** (教育部長) 細心の注意をしながら仕様

**問** 三日月中では運動場が狭いため100m走さえ大変厳しい状況だ。グラウンドの拡張は、できないか。

**答** (教育部長) 次の市学校施設整備計画の中で対応していきたい。

**答** (福祉部長) 平成22年度月200万円以上高額医療者24人のうち、55%の13人が未受診だった。

医療費の適  
正化につい

**問** 特定健診の受診者と未受診者との医療費の差はあるか。

**答** (教育部長) 西与賀小学校での授業風景



▲西与賀小学校での授業風景

**問** JAさが佐城選果場南敷地の市道整備の必要性など協議されたことがあるか。

**答** (市長) 今現在使用されており今後検討していきたいと答弁していた。県道小城牛津線甘木踏切と農協から出てくる道路と交差し非常に危険で小城警察署と協議を行っている。交差点計画位置を北側にシフトをし安全確保する必要はある。倉庫移転道路敷地確保、タンク撤去等事業費が膨らんで大変厳しい状況の判断をしている。

**問** 本庁舎西側からの進入道路の考え方について

**答** (市長) 県道小城牛津線から本庁舎まで約1・4kmの距離がある。途中にJR唐津線の線路があり、道路の拡幅や新設、踏切整備又は高架で対応する必要があるが大変厳しい。

**問** 本庁舎へ来庁される場合、旧広域農道または市道石木・初田線を通って来庁されると考えられる。しかし甲柳原集落内の道路の幅員が3mしかなく車の離合もできず通学、通勤時と重なり非常に危険である。この南約200mに農道が東西一直線に通じて本庁舎玄関に繋がる。この農道を整備してはどうか。

**答** (市長) 県道小城牛津線から本庁舎まで約1・4kmの距離がある。途中にJR唐津線の線路があり、道路の拡幅や新設、踏切整備又は高架で対応する必要があるが大変厳しい。



▲改修が待たれる県道小城牛津線の甘木踏切

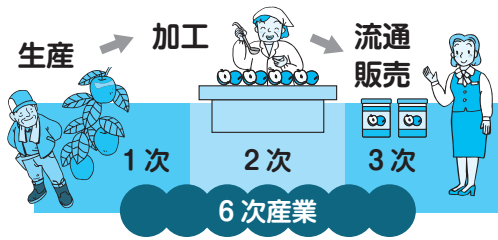


大坪 徳廣

効果的な  
市道整備について

市長

事業費が膨らんで  
大変厳しい状況



**問** 新産業の育成、6次産業化にどう取り組むか。

**答** (市長) 農畜産物の生産だけではなく、加工や流通、販売を一体化し、2次産業、3次産業と連携し生産者、関係者の方々と一体となり考



岸川 英樹

## 6次産業化に どう取り組む

市長

農林漁業者の経営安定に  
一体となって取り組む

えていきたい。事例として、農林水産物加工、直接販売、農家レストランや農家民宿など、24年度予算は研修費用と先進地視察費用をあてている。

**問** 6次産業化事業の成果目標とは。

**答** (市長) 1次産業の振興に直接関連するので、今後5年間で周知徹底し、所得向上につなげたい。

## 市民交流プラザ整備事業について

**問** 施設の規模と配置、管理運営体制とは。

**答** (市長) ワークショップで意見集約されて、南側施設配置案で報告されており。管理運営体制は基本的に土日祝日も開館し、夜間開館も予定。

**問** 施設整備後の管理はどのように考える。

**答** (建設部長) まちづくり小城の会社が計画の中で管理運営に当たる。

## その他の質問

○ 総合防災訓練の成果、反省について



▲清掃センター候補地 (多久市・ゆうらく跡地)

**問** 多久市がゆうらく跡地を清掃センターの候補地として購入したが、清掃センターと関連施設だけなら10万㎡も土地は必要ないと思うが、

最終処分場も考えているのか。また一定の環境整備は必要と思うが、それ以外の整備についてどのように対応するのか。

**答** (市長) 最終処分場も含めて地元で十分配慮しながら計画を進めていく。また小城市にまったく関係ない施設の経費については案分できない。



北島 文孝

## 多久市に 清掃センター建設

市長

小城市も検討したが  
適地がなかった

## 農道の早期解決を

**問** 甲柳原と乙柳の農道の通行止はいっ解除するのか

**答** (副市長) 地元の理解を得るため努力する。

**問** 県営事業で整備された2つの農道は平成17年3月末には小城市の管理下になったと思うが、小城市の権限で法的に解除できないか。

**答** (産業部長) 法的には強制撤去は可能です。



▲待たれる県道手前の市道の拡幅

**問** 県道多久牛津線の西の橋交差点は、2年前の交通量調査データによれば朝7時〜夕方7時までの時間帯で約9,400台弱の車輛の往来があり、これにつながる南

**答** 北の市道は、三里保育園・小学校・三里支館等へ出入りする交通の要衝。道幅の狭さに見通しの悪さも加わり、車の衝突で人身事故につながる可能性が高い。利用者や地域住民の安全安心なくらしを守る上で一刻も早い市道拡幅の実現の見通しは。

**問** 三里地区の定住促進、農地と宅地の土地利用のビジョンは。

**答** (市長) 土地利用方針の策定を昨年より2年の事業期間で着手し、今までの総合計画や小城市都市計画マスタープランの上位計画における土地利用の課題を整理して、校区単位での項目別評価、昨年の総合計画アンケート調査の再集計作業と現在やっている区長さん方へのアンケート調査を参考に、戦略的な土地利用の推進の方向性を示す。



富永 正樹

**市長** 地元の協力と地権者の了解を得られたら

安全な交差点改良を



諸泉 定次

**教育長** 学校の教室に余裕がなく現場は定員増に苦慮

放課後児童クラブの定員増対策は



▲過密状態の牛津小放課後児童クラブ

**問** 共働き世帯や母子家庭などがふえ、放課後児童クラブに入れない現状だ。どのような対策をされているか。

**答** (市長) 新たな施設の設置の前に、学校に隣接している公民館や、桜岡小では本町の空き家活用で中心市街地活性化など、新たに建てるより活用も一つの手法ではないか。

**問** 来年、桜岡・牛津・三日月小は定員オーバーが見込まれる。早急な対策が必要だ。

その他の質問

- 総合窓口設置の必要性
- 下水道事業の企業会計への移行
- セリオの見直し



▲通学路の安全確保は行政の責任で行う課題

**問** 通学路で痛ましい交通事故が各地で発生、国からも緊急に学校関係・警察・行政で合同点検を実施するよう通達が出されていますが、把握してはいますが、どう対処されたのか。



西 正博

## 通学路の安全確保への取り組みは

### 教育長

危険箇所をA、B、Cの段階で分けて調査

### 答

(教育長) 各学校にセーフティネット会議を持っておるので、一層意識の高揚を図っています。今後、順次の取り組みとしていくが、具体的には決まっていない。

### 答

(市長) 原発での廃棄物の処理すら未解決の状況、推進については反対の考え方だ。今後の取り組みとして、公共施設への再生可能エネルギー導入事業についても視野に入れ、計画的に取り組んでいきたい。

## 省エネルギー・節電への小城市の取り組みは

### 問

原発に関する市長の考え方は。また、省エネルギーへの政策をどのように進めていくか。

(市長) 学校では、子供たちへの節電教育や施設の小さな節電の実施などを指導している。

### その他の質問

- 防災・減災への施策
- まちなか交流プラザは



堤 克彦

## 中心市街地活性化事業進捗状況は

### 市長

平成26年度まで同時に進行

### 問

①JRの小城駅広場の整備は、駅南住宅地の開発が進み、これからの出入口は。②小城市園エントランス等の整備は、水路再生の予定、水の再生は。③市民交流プラザ整備は、老朽化に伴う小城公民館の集約を行い、3階の多目的ホール480名収容とある。固定式なのか。

切りができる貸し出し式で固定式ではない。

し。国に要望書を提出中。

## 本庁舎周辺整備について

**問** 大寺橋交差点から本庁舎の歩道整備はどこまで予定しているのか。国道203号西側、東側の歩道は。また歩道の延長の要望がある。

### 答

(市長) 大寺橋から西側北へ約260m。東側は予定な



▲現在の小城庁舎

### その他の質問

○市長と語る会について



市丸 典夫

## 新庁舎移行について

### 市長

市民の皆さんに迷惑を  
かけないよう配慮する

**問** 各課の移転時において市民サービスの低下はないのか。移行スケジュールはどうなっているのか。

**答** (市長) 8月上旬に三日月庁舎の福祉部の各課と市民課の総合窓口係を増築庁舎の1階に移転。小城市舎、牛津庁舎、芦刈庁舎からの移転は、ことしの12月末から来年の1月初めの長期休暇を利用して行う計画。大変大がかりな引っ越しになる。市民の皆さんに迷惑をかけないように十分配慮をする。

**問** 職員駐車場について有料化は考えられないか。

**答** (市長) 有料化という方向で検討をしてみらっている。今現在取り組んでいるという事で御理解いただきたい。

**問** 職員駐車場についてできるのか。

**答** (建設部長) 部屋数と面積において小城市民館を上回っている。問題はなと思っています。

## 小城庁舎跡地に建設予定の交流プラザについて

### 問

小城公民館を交流プラザの中に入れる計画だが問題は無いのか。各種団体は今までどおりに使用



▲完成間近な本庁舎



▲廃屋対策はどうする

**問** 平成23年度の小城市における空き家は366軒、21年度より73軒増えている。またそのうち管理がなされていない空き家は160軒で、火

災や倒壊のおそれがあり、近隣住民が不安を訴えるケースもある。私は管理されていない空き家をあえて廃屋と呼ぶが、その廃屋対策の現状は。

**答** (市長) 倒壊寸前の廃屋については、所有者へ家屋解体等をお願いを行い、既に解体された廃屋もあるが、経済的理由や相続問題などで整理ができていない物件も多数ある。個人の権利の問題

**問** 今現在、県内の4市2町がこの問題について勉強会を行っているが、有田町、多久市が空き家条例を提案している。小城市も早急に条例を作るべきだと思いが。

**答** (市長) 空き家、特に放置空き家については、ある程度厳しい実効性のある条例が必要であると思っている。早急にやるべきと思っている。



合瀬 健一

## 小城市における廃屋対策は

### 市長

早急に実効性のある条例が必要である

もあり行政が直接手を出せない状況である。県内自治体でも勉強会を行い対策を取っている。市としても早急な対応をとることを考える。



深川 高志

### 牛津セリオの 早急な再成を求める

#### 市長

核店舗になる店舗を  
絶対に入れる気概でやる

**問** 牛津まちづくり会社が運営を行うショッピングセンターセリオについては、平成8年に牛津中心市街地活性化の拠点として大きな期待をされ整備されたと思うが、今年5月22日をもってバニーズの撤退により食料部門がなく店内は閑散としており、地域の方々ととつても、買い物に不便な状況だということ、現状と今後の対策についてどのように考えるのか。

**答** (市長) 核店舗のバニーズが退店しており、またテナント一店も退店し、空き区画となつています。大変厳しい状況であります。地元の高

齢者の皆さん方も含めて大変周辺の皆さんの買い物に影響を与えています。今後、核となる店舗を早急に決定しショッピングセンターとしての建て直しを図ってゆく必要があると考えられています。また、今後についても、牛津の区長会からも要望いただいて、市民課の窓口等々の要望もあり、そういったものも検討しております。いづれにしても、市でできることについて

ては協力していきたいと思っております。

#### その他の質問

- 原発再稼動について
- 小城市農業について



▲早急な再生が待たれる牛津セリオ



光岡 実

### 市街地整備の現状と、 進捗状況は

#### 市長

市の重要施策であり、  
着手中である

**問** 中心市街地活性化事業をはじめとする、小城市の市街地整備の現状と進捗状況は。

**答** (市長) 市内4地区を拠点地区と定め、まず、JR小城市駅周辺から須賀神社にかけては、本市の中心拠点と位置づけ、中心市街地活性化事業により、整備に着手しており、現在の小城市庁舎には市民交流プラザの建設も計画中である。



▲整備予定のJR小城市駅西側

また、JR牛津駅周辺を地域拠点とし、牛津の宿場町の歴史的な通りや建造物を守り生かし、落ち着いた風格のある街づくりを目指す。

三日月拠点としては、市の本庁舎ができる庁舎周辺を位置づけ、生活利便施設の集積を図ってきたい。

芦刈地区については、庁舎周辺を拠点と位置づけ、都市再生整備事業は完了し、有明海沿岸道路と県道江北芦刈線の整備等を踏まえて、にぎわいの創出と集客交流の促進、快適居住空間の創造をめざしていく。

#### その他の質問

- 小城スマートインターチェンジについて
- 玄海原発再稼動問題における、市長の再稼動反対の表明について



▲防災行政無線

**問** ①今年3月末、三日月町道辺の火災は、発生場所の放送がされなかったが、道辺集落の方々から、市の危機管理について、対応に疑問されているが。  
②現在の防災行政無線は時間差で3回放送されて

**答** (市長) ①道辺の火災は、全焼で、被災された方々にお見舞申し上げます。この住宅火災において、サイレン放送は鳴ったが、発生場所の放送が聞こえなかったということです。火災時は小城市消防署から放送する仕組みになっている。今回、火災発生放送の誤作動によって、その情報が伝達されなかった。本当に地域の皆さん方におわび申し

**問** 市内道路の現状と対策は

**答** (市長) 四条熊寄線が、要望から数十年かかった経過と今現在の市道の補修は。

**答** (建設部長) 用地買収に、1筆だけ相続関係で手続が進まなかった。市道の補修は区長の要望書でお願いしたい。

**問** 昨年の東日本大震災に端を発して、原子力発電所の停止で、電力不足が懸念されているが、公的施設の節電計画と企業・市民への協力要請のあり方及び計画停電への対応はどうするのか。

**答** (市長) 供給力不足が見込まれる7月2日から9月7日の平日9時から20時は、市報「さくら」やホームページを活用し、啓発活動に取り組む。市公共施設については、昨年の7%に新たに3%合せ10%程度を目標。計画停電対応については、医療機関は当然ながら緩和措置をお願いし、家庭で医療機器を利用

**問** 自然環境、景観の保全と創造ということ、牛津川のごみ問題等をどう認識されているか。

**答** (市長) 国土交通省の河川整備計画では、自然豊かな環境や生態系の保全ができる川づくりを目標としている。ごみ等の環境面、通水断面阻

▲牛津川を流れるゴミ



樋渡 利光

道辺の火災放送がなかった原因は

市長 火災発生放送の誤作動に問題が発生した

**問** ①今年3月末、三日月町道辺の火災は、発生場所の放送がされなかったが、道辺集落の方々から、市の危機管理について、対応に疑問されているが。  
②現在の防災行政無線は時間差で3回放送されて

**答** (市長) ①道辺の火災は、全焼で、被災された方々にお見舞申し上げます。この住宅火災において、サイレン放送は鳴ったが、発生場所の放送が聞こえなかったということです。火災時は小城市消防署から放送する仕組みになっている。今回、火災発生放送の誤作動によって、その情報が伝達されなかった。本当に地域の皆さん方におわび申し

**問** 昨年の東日本大震災に端を発して、原子力発電所の停止で、電力不足が懸念されているが、公的施設の節電計画と企業・市民への協力要請のあり方及び計画停電への対応はどうするのか。

**答** (市長) 供給力不足が見込まれる7月2日から9月7日の平日9時から20時は、市報「さくら」やホームページを活用し、啓発活動に取り組む。市公共施設については、昨年の7%に新たに3%合せ10%程度を目標。計画停電対応については、医療機関は当然ながら緩和措置をお願いし、家庭で医療機器を利用



岸川 弘文

今夏の電力不足・計画停電対応は

市長 10%程度を目標に市民へ啓発活動する。

用されている患者及び熱中症対策等事前の周知に取組む。

害の堆積土としての防災面は、課題があり国、県市、市民の協力を得ながら対応していく。

その他の質問

○情報の共有化





松尾 義幸

## 昨年の東北大地震後の 防災対策は

**市長** 県に準じて水防計画書等々  
変更している

**問** ①平成24年度水防計画は。

②東日本大震災の海岸近くの状況は。  
 ③防災専門の課の設置と担当職員の被災地視察は。

**答** (市長) ①昨年の震災を経て、県の水防

計画、原子力に関する避難計画、津波警報も変わってきている。それに準じて小城市も水防計画等々を変更してきている。  
 ②宮城県気仙沼に随時、支援で職員を派遣し報告があがってきている。短期間でなく、相当長い期間の支援が必要。  
 ③今後の検討課題に。

家の基礎だけだった。芦刈海岸は、0・5mm以上の亀裂がコンクリート部で約1000ヶ所。舗装部で400ヶ所以上。あわせて1400ヶ所以上あります。市長の考えは。



▲ガレキ撤去後の宮城県名取市閑上地区(平成24年5月22日撮影)

**問** 小城市と地域が非常に似ている宮城県名取市閑上(ゆりあげ)を視察してきた。ガレキが撤去され見渡す限り道路と

**その他の質問**  
 ○原子力災害と脱原発について  
 ○牛津川・六角川の整備



下村 仁司

## 甲柳原と乙柳の道路開通を

**市長** 利便性向上のため  
バリケードは撤去したい

**問** 道路の所有者・管理責任者が通行止めしている理由は何だ。

**答** (産業部長) 水路断面での問題です。

**問** 道路と水問題は切り離し問題解決すべきでは。

**答** (市長) 水路と道路の問題を分けて考える。

**問** 老人ホーム鳳寿苑にもしもの緊急事態が発生した時バリケードにより緊急車両が通れない時の小城市の責任は。

**答** (建設部長) 沿線市町合同で要望書を作成して国・県に要望している。



▲甲柳原乙柳間のバリケード

**問** 3月議会以降、多久市議会と小城市議会合同で漁船

**答** (市長) 安全管理面も踏まえて早急に協議をやる。  
**問** 牛津川から流れる浮遊ゴミ対策の進捗は  
**答** (市長) 小河川にもスクリーンを張って元からゴミを遮断していく方法で地域の皆さんの協力が必要である。



上瀧 政登

## 小城・多久広域ゴミ対策 について

市長

小城市・多久市で  
処理施設を建設

**問** 小城・多久でのゴミ処理計画はどう進めるのか。また、中部広域の計画そのものの計画は継続するのか。

し規模やリサイクル施設等を決めていきたい。

あるが早く出店してもらうようお願いしている。

セリオの経営はどうする

その他の質問

○環境整備について

**答** (市長) 県の計画は平成31年度に佐賀市、多久市、小城市での佐賀中部広域連合で処理場を1ヶ所建設する方針があったが佐賀市の都合により断念せざるをえなくなった。しかし将来的にはこの一本化の計画は生きている。そこでこの間、小城市は多久市と共同で処理場の建設を推進することにした。処理場の場所は多久市の上揚地区に決めてもらっている。今後両市で十分協議

**問** セリオの中核店が退店しているが今後の出店計画はどうなっているか。

セリオの中核店の退店は6月末となっているが、突然5月22日に退店する旨の張り紙が出された。現在他の中核店となる会社に交渉中で



▲核店舗待ちのセリオ



樋渡 邦美

## 市内の上水道の 料金格差は

市長

それぞれの企業体で  
努力している

**問** 小城市においては2つの水道事業体から給水を行っているが、合併から現在まで水道料金の格差が続いているが市長はこのことについてどう認識されておられるのか。

題点がある。

学校給食費の滞納  
について

その他の質問

**問** 平成24年度の小城市の教育概要で給食費の滞納問題に対応するため、学校一体となって滞納改善に取り組みとあるが、どう取り組みむつもりか。

納付してもらうよう調整を行う。

○ごみ処理場計画の経過と今後の計画について

**答** (市長) 合併当初約1・8倍の格差があり、西佐賀水道の企業努力により料金の値下げを2回したが、現在でも1・6倍ぐらいある

今佐賀西部広域水道企業団でその域内のすべての企業体を統合して料金をすべて統一という動きもある。組織を統合となると平等性が保たれると思うがまだまだ課題、問

**答** (教育長)

本年度9月より関係する小・中学校で直接徴収事務を行う。校納金とあわせて給食費を



▲みんなで出し合う学校給食。



江島佐知子

**観光協会は  
体制強化し観光振興を**

**市長**

今年度中に体制の充実を図りたい

**問** 観光協会は法人化して3年目になる。代表理事が市長、職員が1人という状況である。十分な観光振興が図れるか。

**答** (市長) 観光協会＝商工観光課という状況である。事務局長を据え、職員2名の3名体制にできるよう今年度に体制づくりをしたうえで、新たな代表理事をお願いしたい。

成された。有効に活用するための注意点は。

**答** (教育長) ①早期発見 早期教育が重要。幼稚園、保育園に特別支援員を11名ずつ配置。小中学校では特別支援教育コーディネーターを指名し、委員会を設置。子どもサポーターも20名配

置。子ども支援センターでは専門家による教育相談を充実。

②市報やホームページで紹介すると同時に、小中学校や乳幼児の保護者にきめ細やかな周知をし、わかりづらいところを考慮して寄り添う形で対応する。また、実務者会議で今後も改善していく。

**障害児支援は成人するまで系統的に**

**問** ①就学前、学校教育、その他での発達障害児への支援体制は。

②サポーターファイルが作



▲6月2日に開催されたたはたるの里ウォーキング

**議会改革検討特別委員会**

委員会メンバー

地方分権と地方自治の時代にふさわしい、より開かれた議会運営を目指すため、議会改革検討特別委員会を設置しました。

議会活性化のため諸改革に関する調査・検討や議会基本条例の制定・運営、ほか必要な諸項目について調査・研究及び検討を行います。

◎深川 高志  
○合瀬 健一

- ・西 正博
  - ・榎渡 邦美
  - ・市丸 典夫
  - ・香月チエミ
  - ・諸泉 定次
  - ・中島 正樹
  - ・岸川 英樹
  - ・北島 文孝
- ※オブザーバー(議長・副議長)

